

日本共産党 和歌山市会議員

ひめだ高宏ニュース

No. 870

11.7.6

6月定例会市議会報告



6月定例会市議会は議案審査の常任委員会が終わりました。私、ひめだは経済文教委員会ですが、私以外は、みな口数の少ない紳士と淑女のようでした。本号は、日本共産党市議団の一般質問の内容です。

避難場所の小・中施設の改善

6月24日(金)日本共産党の松坂みち子市議は、震災等の避難場所となつてい
る小・中学校の施設につ
て各学校からの聞き取り調
査などから、その改善を求
める一般質問を行いました。
松坂議員は、避難場所と
なる体育館にスロープやト
イレがなく、高齢者や障害
者にとつて不便なこと、災
害本部などへの通信手段や
情報収集手段の不足などを
指摘し、改善を求めました。
また、避難場所と避難路の
周知徹底と避難路の安全確
保の現状を質しました。
松坂議員は、浄水場や配
水管の耐震化や漏水対策な
ど、水道事業の現状や課題
について質問し、災害時の
ライフラインの確保、災害
に強い水道施設の計画的推
進を求めました。

被害想定見直し／鳥獣被害対策

6月27日(月)日本共産
党の森下さち子市議は、一
般質問で、市が策定してい
る被害想定について、東日
本大震災の実態を通じ現時
点での認識を質しました。
また3月11日の市の避難勧
告の実態と避難された方へ

フリーの人々



<653>

被災地へ行くんですか？
身体に気をつけてください

エッ、まあ

長時間の車の運転かたいへんですね


ええ

私は運転できません。免許がないから、小さく乗りたいんですけど

ポイントに絞れば
食事の確保 40%
腰痛 20%
イビキ 20%
その他 20%

次号予告とおしらせ

12月17日まで、被災地救援ボランティアに参加のため
次週は休刊し、次号は24日付日曜版オリコミです。



こんにちは
日本共産党の
ふじい健太郎
です。
(その297)

先週、幼児の「夏かせ」について書きましたが、その後、私が「かぜ」を引いてしまいました。そののどは痛いし、声も出ず、頭があげられない状況で、「夏かせ」のしんどさを実感しています。

ということで、外にあまり出られないので、家であつた新聞の切り抜きをさせていただきます。

震災復興会議の答申内容、中央防災会議の津波対策の中間報告、税と社会保障の一体改革の内容

ふじい健太郎
前県会議員



の調査を通して見えてきた課題は何かと質問しました。大橋市長は現在の被害想定について、M8.6規模で最大で4.69メートルの津波が起これるという想定は、もはや起こりうる最大のものとは言えないとし、想定

山口地区 産廃最終処理場計画

6月28日(火)日本共産党の南畑さち代市議は、災害時専務者(65歳以上)のみの世帯、要介護3以上の

の見直しが必要と答弁。森下議員は、イノシシなどによる農作物への鳥獣被害対策について、過去5年間の農作物被害の実態と鳥獣被害対策に携わる人員体制や県の3億円の予算と市の取り組みについて質問。

した。南畑議員は、滝川自治会・山口地区連合自治会から議会に「産業廃棄物最終処理場設置反対要請書」が提出されたことから、環境・

地域の景観などに及ぼす影響に不安を持つ住民の思いを踏まえて市の姿勢について質問。南畑議員は、産業廃棄物処理場建設が全国でトラブルを引き起こしてい

ることや、計画地の下流域に滝川浄水場があり、水質汚染の恐れを指摘。市長に計画を認めるなと要求。

6月29日(水)日本共産党の渡辺忠広市議は、一般質問で、震災時の避難経路にもなる道路について、磯の浦・坂田間の道路の新設

した河西公園に至る道路の新設や西脇小学校の東側道路の拡幅を求めました。渡辺議員は磯の浦・坂田間は83年度から開始、現在では津波からの避難道路として

1007レット 発志中
 「科学の目」で原発災害を考える
 不破哲三 (社会科学研究所所長)
 2011.5.10 「共産主義」の編集
 日本共産党中央委員会ホーム
 ページにも掲載されています

の浦・坂田間の道路の新設と旧労災病院の跡地を利用

不可欠だと指摘。土地買収は、82.7%となっているがこの4年間はノ坪の買収も進んでいないということです。渡辺議員は、完成予

定時期を明確にして進めるべきだと要求。渡辺議員は、津波避難場所について、民間協力ビルの現状を質し、その拡大や津波避難タワーの計画的な設置を求めました。

ごんには

日本共産党



去年の国際環境映画祭(パリ)でグランプリを受賞したのは、「10万年後の安全」という作品でNHKが2月に「地下深く永遠(とわ)に」核廃

棄物 10万年の危険」と題して紹介しています。映画は、地下500メートルの地層に高レベル核廃棄物を埋立処分するフィンランドの計画を取りあげ、10万年後に放射能が安全基準になるまで、施設の危険性をどうするかというので

日本共産党は、高レベル廃棄物の安全な処分が見つかっていないことを「原発の重大な弱点」と指摘し、原発ゼロをめざしています。財界は10年後も危険を残す原発に

いまだに、しがみついています。いま儲かりさえすれば、あとは野とな水山とな水ということでしょう。

20年ぶりに秋葉山を歩いた

7月3日(日)田中友好協会和歌山県連合会の「薬草を求めて秋葉山散策会」に私、ひめたも参加。漢方薬・生薬認定薬師の馬場先生が漢方薬の原料となる

木や草を見つけては説明してくれ、予定以上に参加者があったよう。資料をもらえずとりあえずカメラで写しましたが、メモを取らなかつたので残念でした。